

12. 令和3年度交流研究員

| No. | 氏名 | 交流研究員受入 研究グループ | 指導内容 |
|-----|-------|-------------------|---|
| 1 | 廣嶋 哲 | 構造研究グループ | 極大地震に対する鋼構造建築物の倒壊防止に関する設計・評価技術の開発 ・柱部材の疲労限界性能の動的検証および評価 ・柱部材の破断や座屈による建築物の終局状態評価技術 |
| 2 | 八田 宏志 | 構造研究グループ | 新耐震基準で設計された鉄筋コンクリート造建築物の地震後継続使用のための耐震性評価手法の開発 ・杭基礎の耐震性能の評価・向上に関する技術 |
| 3 | 澤田 知也 | 構造研究グループ | 中層木造建築物の合理的な構造設計法に関する研究 ・枠組壁工法におけるアンカーボルト補強金物に関する研究 |
| 4 | 森本 晋平 | 環境研究グループ | 建築物の室内環境性能を確保した省エネルギー性能評価の実効性向上 ・全般換気及び空調システムの省エネ性及び室内温熱環境（温度・湿度）の評価手法 |
| 5 | 青笹 健 | 環境研究グループ | 建築物の室内環境性能を確保した省エネルギー性能評価の実効性向上 ・建築物の先導的省エネ技術動向・導入効果の分析 |
| 6 | 佐瀬 毅 | 環境研究グループ | 建築物の室内環境性能を確保した省エネルギー性能評価の実効性向上 ・太陽光発電、燃料電池、蓄電池を導入した住宅の消費エネルギー予測ロジックの構築等、建築物の省エネ効果算定に資する研究 |
| 7 | 山内 崇 | 環境研究グループ | 異なる衝撃源に対応するユニバーサルな重量床衝撃音レベル低減量推定のための数理モデルの開発 ・機械学習を用いた数理モデルの開発 |
| 8 | 濱田 開示 | 環境研究グループ | ヒートアイランド暑熱対策における再帰性建材の環境性能に関する研究 ・本研究課題における実験、研究の方法及び考察、まとめに関する指導 |
| 9 | 吉田 義久 | 環境研究グループ | 実汚水に依存しない浄化槽の性能評価法に関する基礎的研究 ・実汚水に依存しない流入原水に関する基礎的研究等 |
| 10 | 河合 邦治 | 防火研究グループ | 大規模地下施設からの安全な避難に関する研究（利用形態、空間特性等を加味した避難誘導方法及び効果的な避難区画等の検討） ・避難・防災に関する専門知識（性能規定化の考え方、群衆避難・弱者避難に関する評価手法および設計法等）の習得 |
| 11 | 岸上 昌史 | 防火研究グループ | 避難安全設計技術の高度化 ・機械排煙稼働時の扉の開放障害に関する実験 |
| 12 | 橋本 由樹 | 防火研究グループ | 中高層木造建築物等の防火関連技術の開発 ・中高層木造建築物等の防火関連技術の開発 |
| 13 | 野中 峻平 | 防火研究グループ | 木材現し型の建築部材を用いた建物の火災安全性に関する研究 ・木質繊維板の用途に応じた耐火性能確認実験 |
| 14 | 青木 慧 | 防火研究グループ | 木材現し型の建築部材を用いた建物の火災安全性に関する研究 ・事前吸水による木材の着火抑制および燃焼抑制に関する研究 |

| No. | 氏名 | 交流研究員受入 研究グループ | 指 導 内 容 |
|-----|-------|-------------------|---|
| 15 | 谷口 翼 | 材料研究グループ | CLT を用いた建築物の基本性能検討 ・ CLT 等を利用した住宅における評価方法基準化に関する検討 |
| 16 | 平野 茂 | 材料研究グループ | 既存木造住宅の耐水害技術の開発 ・ 水災下の既存木造住宅に作用する流体力 |
| 17 | 黒田 哲也 | 材料研究グループ | 既存木造住宅の耐水害技術の開発 ・ 既存木造住宅の耐水害仕様改修の検証 |
| 18 | 山田 久貴 | 材料研究グループ | 建築材料の状態・挙動に基づく RC 造建築物の耐久性評価に関する研究 ・ 下地調整塗材を下地とした有機系接着剤によるタイル後張り工法の耐久性評価 |
| 19 | 三浦 尚文 | 材料研究グループ | 建築材料の状態・挙動に基づく RC 造建築物の耐久性評価に関する研究 ・ 建築用シーリング材のワーキングジョイントにおける性能評価 |
| 20 | 田村 昌隆 | 材料研究グループ | 建築材料の状態・挙動に基づく RC 造建築物の耐久性評価に関する研究 ・ 屋外暴露試験体を用いた塗膜改修実験、劣化塗膜の評価方法 |